

# マイクロデータの新たな利用による統計分析

## マイクロデータの新たな利用による統計分析

～統計ニーズの多様化に応えるために～

統計ニーズの高まりとともに、昨年4月から開始された「オーダーメイド集計」や「匿名データの提供」により、公的統計のマイクロデータレベルでの利用環境が整ってきており、学術研究・高等教育における利用の門戸が旧来に比較して大きく開いてきています。

このような統計データの利用に対応するため、説明会を以下のとおり開催いたします。



### 日 時 会 場 プログラム

平成22年6月5日(土) 13:30～17:00 (13:00開場)  
慶應義塾大学 三田キャンパス 東館(東京都港区)

#### ■開会

1. 樋口美雄(慶應義塾大学商学部教授/統計委員会委員長)  
あいさつ
2. ルクセンブルク所得研究のデータベース利用について
3. 匿名データ及びオーダーメイド集計の利用について
4. 官学連携による統計の利用基盤の整備について

(休憩)

5. 橋本紀子(関西大学経済学部教授)  
「属性による日本の消費者行動の違い」
6. 阿部修人(一橋大学経済研究所准教授)  
「homescanと家計調査の比較」
7. 石井加代子(慶應義塾大学大学院商学研究科特別研究講師)  
「慶應義塾家計パネル調査と貧困動態」

#### ■閉会

### 参 加 費 定 員 等

無料

80名(予約優先)

※マイクロデータを学術研究・高等教育の発展に資することを目的とした利用を考えている方

#### 【共催】

総務省統計局、統計センター、慶應義塾大学パネルデータ設計・解析センター、一橋大学経済研究所、神戸大学大学院経済学研究科、法政大学日本統計研究所

#### 【お問い合わせ先】

独立行政法人統計センター経営企画室

(TEL) 03-5273-1206

(e-mail) y-chousa@nstac.go.jp